

# 平成 24 年度 事業報告書

公益財団法人千葉市防災普及公社

## 第 1 事業の概要

東日本大震災の発生や大規模地震が今後発生することが懸念されており、防災に対する市民の意識が高いなか、「安全で災害に強いまちづくり」の実現に向けて更なる事業展開に取り組み、防火防災意識の高揚と防火管理体制の推進、応急処置技術の普及啓発、火災や地震等の災害の予防及び被害の軽減の助成をもって市民生活の安全と公共の福祉に寄与するための事業を実施した。

公益目的事業では、災害の弱者といわれる幼児・高齢者などを火災や地震から守るため、防火・防災意識の普及及び広報活動や行政機関の行う防災施策に対する協力、防火管理体制等の教育指導講習を実施した。また救命講習による救命技術の普及促進など実効性のある防災業務に取り組み一方、防火管理者などに対し各種教育指導講習を実施し災害予防の更なる充実強化を図り、「安全で災害に強い千葉市」の実現を推進した。

また、収益事業として市民に対する防災意識の高揚を図るべく、住宅用防災機器や家庭向け防災物品を販売し各種防災用品の普及促進に努めた。

## 第 2 事業内容

### 1 防火防災の思想の普及啓発、知識技術の育成指導及び教育研修の実施に関する事業

#### (1) 防災意識の普及及び広報に関する事業

##### ① 防災意識の普及及び広報活動

自主防災会等へ地震や風水害・火災等の防火防災に関するビデオ・DVD の貸出を行ったほか、防災啓蒙物品を作成、配布し防火防災に対する普及啓発に努めた。

また、防災普及車出向時に、公社で所有している訓練用水消火器などの資機材を活用した消火器の使用方法を指導するなど実効性のある訓練を行い、防災意識の普及に努めたほか、千葉市所有の訓練用粉末消火器の充填、耐用年数の経過により使用に耐えないものについて廃棄を行い、自主防災会の訓練及び千葉市総合防災訓練で活用できるよう体制を整えた。

さらに、公社が主体となり実施団体と調整を図り、地震体験・消火体験・煙体験・防災講話・応急手当体験を総合的に行う防災訓練を実施したほか、小学生の親子を対象とした親子で学ぼう救命&防災教室を実施した。

#### ア 防災啓発ビデオの貸出

(単位：件、本)

貸出件数	貸出本数
74	163

#### イ 啓蒙物品の作成・配布

(単位：品目、個)

品目数	作成数	配布先
2	13,000	防災訓練・防災イベント時に配布

ウ 訓練・体験用資機材の整備及び活用

訓練・体験用資機材の活用

(単位：回、人)

項目	実施回数	体験者数
訓練用水消火器使用体験	24	1,314

市所有訓練用粉末消火器の整備充填

(単位：本)

整備充填数
185

エ 防災訓練の実施

(単位：回、人)

開催回数	参加人数	実施内容
7	515	地震体験・煙体験・初期消火 119番通報体験・防災講話・応急手当体験

オ 親子で学ぼう救命&防災教室

(単位：回、組)

開催回数	参加組数	実施内容
1	6	地震体験・煙体験・初期消火 応急手当体験・梯子車乗車体験

② 防災普及車による防災意識の普及

東北地方太平洋沖地震の記憶が新しく、また大規模地震の発生が懸念され、市民の防災意識が高まっているなか、自主防災会や事業所などの要請に応じて防災普及車による地震体験及び煙体験などを通じ災害に備えた防災知識と安全な対処方法の普及に努めた。また、平成25年2月には東北地方太平洋沖地震の再現地震が体験できるようにプログラムを入れ替え、更なる市民の防災意識の高揚に努めた。

(単位：回、人)

出向回数	参加人数	地震体験		煙体験		119番通報体験	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
203	52,120	203	22,266	134	17,200	7	730

(2) 行政機関の行う防災施策に対する協力に関する事業

① 行政機関の行う防災施策に対する協力

ア イベント等への支援協力

イベント会場等において防火・防災に関するコーナーを設けて市民等からの相談を受けたほか、要請に応じて防災普及車による地震体験指導や応急手当体験等を行った。

また、消防署で行うイベント等において防災関連グッズの配布支援を行った。

(単位：回)

協力回数	支援内容
25	物品展示・地震体験・煙体験・物品配布・応急手当体験

#### イ 異常気象及び地震時等における活動体制の整備

異常気象及び地震時等における情報連絡体制を確立したとともに、大規模地震発生等の際に関係機関の要請に応じて対応が図れるように、アルファ米や保存水等の備蓄食糧品及び担架や毛布等の資機材を補充した。

##### (7) 異常気象時における招集

(単位：回)

区分	回数
台風	1

##### (4) 備蓄食糧及び資機材の整備

(単位：品目、食、個)

区分	品目数	補充数量
食糧	4	656
資機材	5	78

#### ウ 市民への表彰に伴う記念品の授与

市民が行った初期消火活動や救助活動の案件に対して行う消防の表彰に合わせて公社より記念品の授与を行った。

(単位：件、人)

種別	件数	人数
個人	16	49
団体	5	7

### (3) 防火管理体制等の教育指導講習等の事業

#### ① 防火管理体制の教育指導講習

##### ア 自衛消防業務講習

法令で定められた一定の要件に該当する防火対象物に設置しなければならない自衛消防組織に必要な統括管理者を対象として、自衛消防組織の業務に関する知識及び技能を修得し資格を取得する目的のほか、統括管理者の直近下位の内部組織の業務を統括する要員に対する教育として2日間の新規講習を実施した。

また改正前の消防法施行規則の規定に基づく防災センター要員講習の課程を修了した者を対象に自衛消防業務追加講習を実施した。

##### (7) 新規講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
17	559

(イ) 追加講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
3	93

イ 防火対象物点検資格者再講習

法令で定められた一定の要件に該当する防火対象物における防火管理上必要な業務、消防用設備等の設置及び維持その他火災の予防に必要な事項について定期的に点検し、その結果を報告する業務を行う防火対象物点検資格者で、免状の交付を受けた日又は最後に講習の課程を修了した日以後における最初の4月1日から5年以内の者に対する再講習を実施した。

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
2	87

ウ 防災管理点検資格者講習

法令で定められた大規模な建築物等において、地震等の火災以外の災害対応である防災管理業務の実施が義務づけられ、防災管理上必要な業務、その他火災以外の災害による被害軽減のために必要な事項について、定期的に点検し、その結果を報告する業務を行うのに必要な資格を取得するための2日間の新規講習を実施した。

(単位：回、人)

開催回数	受講者数
1	13

② 防火管理講習等

ア 防火管理講習

法令で定められた一定の防火対象物において防火管理者として選任されるために必要な資格を取得するための甲種新規講習(2日間)と乙種講習(1日間)を実施した。また、甲種防火管理者の資格を取得してから一定期間が経過した者等を対象とする再講習を実施した。

(ア) 甲種防火管理新規講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
8	1,486

(イ) 甲種防火管理再講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
2	227

(ウ) 乙種防火管理講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
1	9

イ 防災管理新規講習

法令で定められた大規模な建築物及び工作物において、地震等の火災以外の災害対応である防災管理上必要な業務を実施するために必要な知識を修得し、資格を取得するための1日間の新規講習を実施した。

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
2	184

ウ 防火・防災管理新規講習

法令で定められた大規模な建築物及び工作物において、地震等の火災以外の災害対応である防災管理上必要な業務を実施するために必要な知識を修得し、資格を取得するため、甲種防火管理新規講習と併せた2日間の新規講習を実施した。

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
1	160

エ 防火管理者等実務講習

千葉県火災予防条例で定められた要件に該当する防火対象物の防火管理者で、資格を取得してから一定期間が経過した者等を対象とする実務講習を実施した。

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
6	314

オ 自衛消防技術講習

千葉県火災予防条例で定められた要件に該当する防火対象物において組織された自衛消防組織の長等に対して、防火・防災に関する知識及び技術の向上を目的とした自衛消防技術講習を実施した。

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
3	96

## カ 防火管理講習等用教材の頒布

千葉市より受託して行う防火管理講習等の教材として使用するテキストの頒布を受講者に対して実施した。

(単位：種、冊)

テキスト種類数	頒布冊数
6	6,123

## 2 応急手当の普及啓発及び知識技能の向上に関する事業

救急隊が現場に到着するまでの空白の時間に真の救命率向上の「鍵」があり、より多くの市民が応急処置の知識と技術を身につけ、誰でも心肺蘇生法をはじめ AED の取扱要領や止血法などの救命処置が適切に図れるよう普及・啓発に努めるため、救命講習での指導を行った。団体の要請に応じ指導員が出向したほか、常設の会場において定期的に講習を開催した。

今年度から 4 署に常設の会場を設け、毎月 1 回の普通救命講習Ⅰを新規に実施したほか、幼児・乳児に対する救命処置を身につける普通救命講習Ⅲや自主事業として外傷手当に特化した応急手当再講習を実施した。

### (1) 救命講習

#### ア 普通救命講習Ⅰ 出張

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
252	5,216

#### イ 普通救命講習Ⅰ 常設

(単位：回、人)

開催回数	修了者数						
	合計	公社	消防局	花見川	稲毛	若葉	緑
184	1,275	386	610	51	71	62	95

#### ウ 普通救命講習Ⅲ

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
5	92

#### エ 上級救命講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
20	593

オ 上級救命再講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
17	141

カ 応急手当再講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
2	19

(2) 救命講習用教材の頒布

(単位：品目、個)

品目数	頒布数
2	1,700

3 防災物品等の普及促進に関する事業

住宅防火推進の一環として住宅用防災機器の普及に併せ、広く市民に対する防災意識の高揚を図るべく、各種防災用品の普及促進に努めた。

(1) 防災用品の販売

ア 住宅用防災機器の販売

(単位：本)

品目	販売数
住宅用消火器	265

初期消火で使用した住宅用消火器の助成

(単位：件、本)

火災内容	件数	助成本数
建物火災	1	2

イ 応急手当処置用品の販売

(単位：品目、本)

品目数	販売数
3	485

ウ 防災物品の販売

(単位：品目、件、個)

品目数	販売件数	販売数
45	53	708

エ 防災資機材の販売

(単位：品目、件、個)

品目数	販売件数	販売数
20	23	220



## 事業報告の附属明細書

平成 24 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書については作成しないこととしている。